

6年生国語科

★教科書で紹介されている図書 ■おすすめセット文庫
★作者・筆者紹介に掲載されている図書

月	単元名 『教材名』(作者名)	時数	主な学習内容	参考図書
4	詩 つないで、つないで、一つのお話 『春の河』(山村暮鳥) 『小景異情』(室生犀星)	1 1	○詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする。	☆『おーい、ぼぼんた』 茨木のり子・大岡信・川崎洋・岸田衿子・谷川俊太郎 編集委員
	物語 1 視点のちがいに着目して読み、感想をまとめよう 『帰り道』(森絵都)	6	○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える。 ・「律」と「周也」の人物像を考え、交流する。 ・「律」と「周也」の心情がどのように変化したかを考え、その後の二人の関係を想像する。 ・感想を書き、交流する。	☆『なみだの穴』まはら三桃 ☆『糸子の体重計』いとうみく ☆『流れ星キャンプ』 ★『DIVE!!!』 ★『クラスメイツ』 ■B03-46『大好き!「朝の読書」』
	春のいぶき 齋藤茂吉・星野立子・西山泊雲		・「春のいぶき」という言葉からイメージするものを発表し、自分の地域で感じる「春」を俳句や短歌の形式に表して書く。	
	聞いて、考えを深めよう		○話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。 ・話題を確かめ、自分の考えを整理する。話題について、友達から聞きたいことを考える。 ・グループで考えを聞き合う。 ・出た意見をもとに自分の考えを深め、グループで交流する。	
5	説明文 2 筆者の主張や意図をとらえ、自分の考えを発表しよう 『笑うから楽しい』(中村真) 『時計の時間と心の時間』(一川誠)	6	○事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する。 ・「笑うから楽しい」を語句の意味を確かめながら読む。 ・「時計の時間と心の時間」を読む。 ・筆者の主張に対する自分の考えをまとめる。 ・考えを発表し合い、学習を振り返る。	☆『時間の研究』池内了 監修 ☆『元気な脳が君たちの未来をひらく』川嶋隆太 ☆『時間ってなに?流れるのは時?それともわたしたち?』クリスト=ブトン 文 伏見操 訳
6・7	提案文 私たちにできること	10	○筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える。 ・提案文を書くための資料を集める。 ・グループで、問題点や解決策など具体的な事例を取り上げながら、提案内容について話し合う。 ・提案文の構成を考える。 ・グループで提案文の下書きをする。下書きをグループで検討して清書する。 ・書いた提案文を他のグループと交流する。	
	夏のさかり 島木赤彦・日野草城・鈴木真砂女	2	・「夏のさかり」という言葉からイメージするものを発表する。自分の地域で感じた「夏」を知らせる手紙を書く。	
7	読書 私と本 『森へ』(星野道夫)	5	○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること役立つことに気づく。 ・自分と本との関わりを考える。 ・特に心に残っていた本や、その本がもつテーマについて交流する。 ・これから読んでみたい本のテーマを考える。 ・「森へ」を読み、P82を参考にブックトークの手順を確かめる。 ・自分で考えたテーマに沿って、紹介したい本を決め、ブックトークをする。 ・自分で考えたテーマに沿って、紹介したい本を決め、ブックトークをする。	☆『風をつかまえたウィリアム』ウィリアム=カムクワンバ・プライアン=ミラー 文 さくまゆみこ 訳 ☆『バッテリー』あさのあつこ ☆『あきらめないこと、それが冒険だ』野口健 ☆『五感の力でバリアをこえる』成松一郎 ☆『義足でかがやく』城島充 ☆『見えなくても だいじょうぶ?』フランツ=ヨーゼフ・ファイニク 作 ☆『アハメドくんのいのちのリレー』鎌田實 ピーター=バラカン 英訳 ☆『ヒロシマ8月6日、少年の見た空』井上こみち ☆『武器より一冊の本をください』ヴィヴィアナ=マツァ 著 ☆『自然に学ぶくらし自然の生き物から学ぶ』石田秀輝 監修 ☆『ここで土になる』大西暢夫 ★『グリーゼ』★『アラスカたんけん記』
9	詩 せんねん、まんねん	1	○詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする。	☆『日本語を味わう名詩入門20 まど・みちお』萩原昌好
	利用案内を読もう	3	○目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つける。 ・知りたい事柄に応じて、利用案内を読む。 ・知りたい事柄に応じて、ウェブサイトを見る。 ・パンフレット等の紙媒体の情報源とウェブサイトの違いや、それぞれの活用のしかたについて話し合う。	岐阜県図書館ウェブサイト https://www.library.pref.gifu.lg.jp/
9・10	物語 3 作品の世界をとらえ、自分の考えを書こう 『やまなし』(宮沢賢治) 〈資料〉イーハトーヴの夢(畑山博)	8	○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。 ・「やまなし」の世界を捉える。 ・「やまなし」を読み深める。 ・作者が作品に込めた思いや考えについて、自分の考えをまとめる。 ・書いたものをグループで読み、感想を交流する。	■B02-06『絵本・日本の童話名作選 宮沢賢治作品』 ■B03-44『宮沢賢治どうえほん』 ■C02-24(紙芝居)『宮沢賢治かみしばいの森』 ☆『赤い蠟燭と人魚』小川未明 ☆『ピワの実』坪田譲治 ☆『ひとつのねがい』はまだ ひろすけ ☆『二十四の瞳』壺井栄 ★『教師 宮沢賢治のしごと』★『ひらけごま』
10	短歌 俳句 秋深し 藤原公実・与謝蕪村・正岡子規	2	・「秋」をテーマに短歌を作る。 ・創作した俳句や短歌を交流する。	■A17-17『はじめてであう俳句と短歌の本』
	みんなで楽しく過ごすために 【コラム】伝えるにいいことを伝える	6	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づく。 ・議題を確かめ、目的や条件をはっきりさせる。 ・目的や条件に合わせて、自分の考えを明確にする。 ・進行計画に沿って、グループで話し合う。	
11	説明文 4 表現の工夫をとらえて読み、それをいかして書こう 「『鳥獣戯画』を読む」(高畑勲) 【情報】調べた情報の用い方 日本文化を発信しよう	11	○引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ○目的に応じて、論の進め方について考える。 ・「『鳥獣戯画』を読む」を絵と文を照らしあわせながら読み、内容を捉える。 ・筆者のものの見方や、それを伝えるための工夫について気づいたことをまとめる。 ・学校図書館などを利用して日本文化について書かれた本を読み、表現の工夫について交流する。 ・グループで題材を決め、どんなパンフレットを作るか構想を練る。 ・決めた題材について詳しく調べる。 ・パンフレットの目的に応じてその構成を決め、役割分担をする。 ・割り付けを決め、下書きを書く。 ・清書し、パンフレットを完成させる。	『日本絵巻物全集 第3巻 鳥獣戯画』(角川書店編集部/編) ☆『日本のくらし』パトリック=ハーラン(バックン) 英語指導 ことくらぶ 編 ☆『花火の大図鑑』日本煙火協会 監修 泉谷玄作 写真 ☆『日本人の伝統的な食文化 和食』服部津貴子 監修 ことくらぶ 編 ☆『子どもに伝えたい和の技術6 和楽器』和の技術を知る会
	古典芸能の世界—演じて伝える		○古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のものの見方や感じ方を知る。	☆『道成寺』片山清司 ☆『かたつむり』内田麟太郎

月	単元名 『教材名』(作者名)	時数	主な学習内容	参考図書
12	狂言 5 伝統文化を楽しもう 狂言 柿山伏 柿山伏について(山本東次郎)	4	○親しみやすい古典芸能の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむ。 ・「狂言 柿山伏」を音読し、独特の表現と話の筋を理解する。 ・グループで役割を決め、音読練習をする。 ・音読の発表をする。	■A15-01『日本の伝統芸能はおもしろい』 ■A15-02『日本の伝統芸能』 ■A15-04『こども伝統芸能シリーズ』 ■B11-02『らくご長屋シリーズ』 ■B11-03『こども古典落語』 ■B03-39『21世紀によむ日本の古典』 ■B03-40『少年少女古典文学館』
	意見文 大切にしたい言葉	6	○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ・座右の銘にしたい言葉を決める。 ・文章構成を考える。 ・下書きをし、読み合って推敲する。 ・書き表し方を工夫して清書する。 ・読み合って感想を伝える。	
	冬のおとずれ	2	・冬のイメージを広げ、自分が住む地域の「冬」の様子を手紙に書く。	
1	音読 詩を朗読して紹介しよう	2	・教科書にある詩を朗読する。 ・お気に入りの詩を朗読する。	☆『元気になる詩6年生』伊藤英治 編 ☆『子どもへの詩の花束』 ■E05-03『子ども版声に出して読みたい日本語全12巻セット』
	説明文 6 筆者の考えを読み取り、社会と生き方について話し合おう 『メディアと人間社会』(池上彰) 『大切な人と深くつながるために』(鴻上尚史) (資料)『プログラミングで未来を創る』(石戸奈々子)	6	○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。 ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる。 ・要旨を捉える。 ・二つの教材文を比べて読む。 ・「これからの社会をどう生きていくか」ということについて、筆者の考えをふまえて自分の意見をまとめる。	☆『地球環境から学ぼう! 私たちの未来 第3巻 日本の問題・世界の問題』塩瀬治 編 ☆『瑠璃色の星 宇宙から伝える心のメッセージ』山崎直子 ☆『ここまでできている! iPS・遺伝子・脳研究』法政大学自然科学センター 監修/こどもくらぶ 編
2	思い出を言葉に	7	○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にする。 ・形式を決め、表現を工夫して書く。 ・作品を読み合って感想を交流する。	
	今、私は、ぼくは	6	○資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。 ・スピーチの話題を決め、内容を整理する。 ・構成を考えてスピーチメモを作る。 ・発表に必要な資料を準備する。 ・スピーチの練習をする。 ・スピーチの会を聞いて交流する。	
3	物語 7 登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について話し合おう 『海の命』(立松和平)	6	○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする。 ・物語の設定を確かめ、構成と内容を捉える。 ・物語の山場を読み深める。 ・それぞれの登場人物の生き方について考え、それに対する自分の考えをまとめる。 ・登場人物の生き方について考えたことを、グループで話し合う。	立松和平の本『牧場のいのち』『木のいのち』『川のいのち』『田んぼのいのち』『街のいのち』『山のいのち』『森に生きる』他 ☆『西の魔女が死んだ』梨本香歩 ☆『チェロの木』いせ ひでこ ☆『こたけをすきになった山』エリック=カール/絵 アリス=マクレーラン/作 ゆあさ ふみえ/訳 ■B13-06『小学校国語の教科書に出てくる本6年生』 ■B03-36『戦争と平和 子ども文学館』 ■B03-45『朝読セット 高学年向き』
	詩 卒業するみなさんへ 『生きる』谷川俊太郎 『今、あなたに考えてほしいこと』中村桂子 『いかだ』ジム=マルシェ作/金原瑞人/訳 『平和のとりにてを築く』大牟田稔	4	・「中学校へつなげよう」で、6年間の国語学習を振り返り、身につけた言葉の力を整理する。 ・「生きる」「今、あなたに考えてほしいこと」を読み、それぞれのメッセージとその共通点を考える。 ・それぞれの作品を読んで感じたことや、自分がこれからどう生きていきたいかについて考えを交流する。 ・改めて6年間の国語学習を振り返り、これからの生活や学習に向けて取り組んでいきたいことを考え、本単元をまとめる。	■B04-31『谷川俊太郎・吉村和敏の写真詩集』
巻末	読書 本の世界を広げよう		☆『冒険者たち』斎藤惇夫 ☆『ぼくらの先生!』はやみね かおる ☆『盆まねき』富 陽子 ☆『トムは真夜中の庭で』フィリパ=ピアス 作 高杉一郎 訳 ☆『ヨーンじいちゃん』ペーター=ヘルトリング 作 上田真而子 訳 ☆『ルリユールおじさん』いせ ひでこ ☆『モギ ちいさな焼きもの師』リンダー=スー=バーク 片岡しのぶ 訳 ☆『夏の庭 The Friends』湯本香樹実 ☆『漂泊の王の伝説』ラウラ=ガジェゴ=ガルシア 松下直弘 訳 ☆『ハッピーノート』草野たき ☆『両親をしつけよう!』ビート=ジョンソン 作 岡本浜江 訳 ☆『夏のとびら』泉 啓子 ☆『リバウンド』E=ウォルターズ 作 小梨直 訳 ☆『今昔物語集』令丈ヒロ子 著 ☆『トモ、ぼくは元気です』香坂直 ☆『世界を動かした塩の物語』マーク=カーランスキー 作 遠藤育枝 訳 ☆『世界一おいしい火山の本』信太郎 ☆『0.1ミリのタイムマシン』須藤斎 ☆『歴史人物・文化遺産⑥ 江戸時代(後期)・幕末』鎌田和宏 監修	☆『学校に行くのは、なんのため?』長田徹 監修 稲葉茂勝 著 ☆『アレルギーってなに?』海老澤元宏 監修 坂上博 著 ☆『キュビズムって、なんだろう?』ケイト=リッグス 編 ☆『アンネのバラ』國森康弘 ☆『月はぼくらの宇宙港』佐伯和人 ☆『音楽をもっと好きになる本 3 音楽家に親しむ』松下 奈緒 ナビゲーター/ひの まどか 執筆・監修 ☆『ネルソン・マンデラ 自由へのたたかい』バム=ボラック・メグ=ベルヴィソ 著 伊藤菜摘子 訳 ☆『鉄は魔法つかい』畠山 重篤 ☆『池上彰の ニュースに登場する世界の環境問題 ⑩ エネルギー』池上彰 監修 ☆『暑さどくらし』宿谷昌則 監修 鈴木信恵 著 ☆『もしも日本人がみんな米つぶだったら』山口タオ ☆『深海大探検!』ワン・ステップ 編 海洋研究開発機構 協力 ☆『えほん 日本国憲法』野村 まり子 絵・文 笹沼 弘志 監修 ☆『よくわかるネット依存』遠藤美季 監修 ☆『考える練習をしよう』マリリン=バーンズ 左京久代 訳 ☆『いのる』長倉洋海 ☆『地球へのピクニック』谷川俊太郎 ☆『声に出そう はじめての漢詩 一 自然のうた』全国漢文教育学会 編著 ☆『サキサキ オノマトへの短歌』穂村弘 編